

第3回東大本番レベル模試 国語(文科) 優秀答案

第一問

(一)

国家の存在に本質的な、国家がある領域で正当な暴力行使の独占を実効的に要求する事態はなぜ国家だけが自らの暴力を正当とできるのかという問いを生むこと。

(二) 該当無し

(三)

他者からの評価を「あるがまま」の自分と一致した肯定的なものとして受容できる保証はなく、かえって他者の評価通りに演技しなければならぬ場合もあるから。

(四)

暴力は破壊するだけでなく、誰に対してもどんな状況でも相手を恐怖させられるため、暴力的に優位に立つものがその恐怖を利用し命令、決定に裁量を持てること。

暴力は破壊し打ちのめすと同時に、相手の恐怖を利用して普遍的に命令することを可能にし、それを保持するものに大きな決定の裁量を与える働きをもつということ。

(五)

暴力は誰にでも状況によらず相手の恐怖を利用し命令に実効性を持たせられる普遍的手段なのである社会の中で他の個人、集団を圧倒する暴力を持つ国家は実効性のある命令である法を制定し、暴力を違法と合法に分け自らの行使する暴力だけを合法化できるから。

## 第二問

(一) 該当無し

(二) 該当無し

(三) 該当無し

(四)

四の君を気の毒に思うものの、早く北の方への復讐の実現を願う気持ち。

(五)

女君がかつて落窪と呼ばれていじめられ、つらい思いをしたことよりも、少将の書いた手紙を読んだ北の方はつらく思っただろうということ。

北の方にとって、四の君に恥をかかせる手紙は、落窪の君の名を人に聞かれる以上に苦痛であったこと。

### 第三問

(一) 該当無し

(二)

文侯がわいろをたくさん送らない豹は側近からの評判が悪いため、豹を長官を辞めさせた。

(三) 該当無し

(四) 該当無し

(五)

結局、豹は自分のために治めよという文侯の言葉を聞かず長官を辞めたこと。

#### 第四問

(一)

人に具象的に見える絵画の作り方は、歴史的に生み出され、固定されただけでなく、生物種としての人間が共通に備える中枢器官やその身体の行動にも基づくということ。

(二) 該当無し

(三)

絵画を描くときに、感覚されるものは身体の内にあるため、画家の身体は様々な度合いや深さ、持続の水準を持って描く対象と同化することで、絵の中に感覚の対象が表現できること。

(四) 該当無し